

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 静岡市立玉川中学校 (※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>  
☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他 (例: 小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む  
所在地 〒421-2223  
静岡県静岡市葵区落合 8 4 0 番地  
E-mail tamakawa-jo@shizuoka.ednet.jp  
Website http://www.tamakawa-j@shizuoka.ednet.jp  
生徒数 男子 8 名 女子 9 名 合計 17 名  
生徒の年齢 12 歳 ~ 15 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「自ら切りひらくたくましい生徒の育成」を学校理念として、E S D を「持続可能な社会の担い手を育む教育」と捉え、E S D の実践を通して「地域を中心とした社会全般に貢献できる人材を育てること」を目標とした。

具体的には、地域の伝統文化、国際理解を柱に、①玉川太鼓 (和太鼓) の演奏活動、②茶の生産活動、③一人一テーマの個別探究学習を行った。

### ① 玉川太鼓 (和太鼓) の演奏活動

「玉川に活気を」を合い言葉に、専門委員会を中心とした自治的な練習と、年 3 回の専門家による指導により演奏技能を向上させ、6 曲のオリジナル曲を全校生徒で演奏した。保護者や地域の方々に向けた演奏会は、校内で行う「茶摘み」や「学習発表会」で歓迎演奏として実施した。また、地区で行う「特別養護老人ホーム」への慰問演奏、「玉川地区大運動会」での種目としての演奏も行った。さらに、国際理解教育と関連させ、インドの教職員を歓迎する際に演奏を行ったり、豪華客船 (外国人観光客が乗船) の清水港出港時における歓送迎の演奏を行ったりした。

## ② 茶の生産活動

地域産業への理解を深め、働くことの意義や大切さを学ぶために学校茶園で生茶を栽培・収穫している。茶の収穫は、生育状況に合わせて4月後半から5月中旬にかけて2回行い、生徒一人一人が腰にかごを付け、手摘みで地道に行っている。地域や保護者の方もお手伝いに来校してくださり、地域全体の大きな行事となっている。収穫した茶葉は地区内の製茶工場で製茶し、生徒が袋詰め作業を行っている。今年は、「玉川茶を楽しむ会」を行い、日本茶インストラクターを講師に迎え、美味しいお茶の入れ方について学ぶことができた。また、①で説明した豪華客船歓送迎の太鼓演奏の際には、外国人観光客と英語でコミュニケーションを取りながら玉川茶を試飲してもらう活動を行ったり、インド教職員来校の際も、生徒がお茶を入れて振る舞ったりなどした。茶の栽培は、春に2回、秋に1回の施肥を生徒会中心に実施し、収穫後に茶刈り機で行う台均しは学校応援団を含む保護者の協力で2回行っている。生産したお茶は、各家庭、親戚や知人に贈られ、学校の来訪者に振る舞われている。

## ③ 一人一テーマの個別探究学習

総合的な学習の時間を「玉川学習」とし、地域産業や職場の体験で働くことの意義ややりがいを学び、社会人としてのルールやマナーを習得している。さらに、一人一テーマの個別探究学習を進め課題解決力を高めている。個別探究学習のテーマは、地域産業・伝統文化・地域の特性・地域の環境に関わるものなどを含めたもので、資料検索や聞き取り調査、実地探索などをもとに、地域や社会の抱える諸課題の解決に向けた自己の考えを学習発表会の場で提案している。



① の写真（太鼓演奏）



② の写真（茶摘み）



③ の写真（個別探究学習の発表）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「ユネスコスクールと持続可能な開発のための教育（E S D） 今日よりいいアースへの学び」「これからのユネスコスクールを考えよう」「協働学習プロジェクトをはじめよう」「国際理解教育実践資料集」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1年間の教科の授業、特別活動、総合的な学習の時間におけるE S D活動関連の具体的内容を明確にし、全職員で共通理解を図った上で、教育活動を進めている。その具体的な内容をまとめた年間計画を作成し全教室や廊下に掲示することで、教職員のみならず生徒の意識も高めている。授業では、各教科の単元とE S D活動の活動分野との関連をチャートにし、学習課題として取り上げるよう意識させている。課題解決学習を基本に、考えを深める場として生徒同士が伝え合う場面を設定し、深い学びが行われるよう研修テーマとして取り組んでいる。特別活動と総合的な学習の時間については、そのねらいを明確にし、それぞれが機能的に関連するよう計画している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校運営組織に「ユネスコスクール（E S D活動）担当」を定め、「ユネスコスクール委員会」を4名で構成し、組織的に活動を進めている。継続的に取り組んでいくためには、校内組織だけでなく、地域・保護者との関係を構築していくことも大切になるため、担当は地区の会合に出席するなどしながら、関係強化に努めている。活動に無理が生じることで、負担感が優先し停滞していく要因となるため、教育課程担当者（教務主任）は、学校の諸活動と丁寧に摺り合わせながら、慎重に計画作りを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価書を作成し、内部（教職員）と外部（学校評議員・保護者）からアンケートや会議の中で直接意見をもらうという方法で意見集約し、成果と課題を明確にし、次年度への活動の資料としている。成果としては、先に述べた3つの活動がE S D活動の軸となり、生徒が愛着と自信をもって取り組む姿勢が見られるようになったこと、海外の方（外国人観光客、インド教職員）との交流も行われ、世界について考えるきっかけとなったことなどが挙げられた。課題としては、活動が集中する時期には、一つ一つの活動目的が曖昧になることが挙げられ、十分な時間を確保し、生徒の主体性を尊重した活動にしていくことを次年度の計画に生かしていくこととした。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校内には常に最新の ESD 活動の写真等が掲示され、地域や保護者の方に見ていただく体制が整っている。また、毎月 1 回発行の学校だよりではカラー写真を利用して ESD 活動の様子を丁寧に伝えているが、保護者はもちろん、地域の方々も見る事ができるようにしている。さらに、学校ホームページでは、活動の様子をタイムリーにアップし発信している。地域や保護者からは、掲示・学校だより・HP について大変高く評価していただき、活動への御理解・御協力を得られることに繋がっている。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

静岡大学教育学部主幹のコンソーシアム事業の中「平成 29 年度成果報告会」に参加し、様々な情報を得たり、人とのつながりを作っていくたりしながら、自校の実践に繋げている。また、ACCU の研修で「輝け未来！ユネスコスクール リーダーシップ研修」にも参加し、ESD 活動を推進していくためのリーダーシップを醸成し、活動の活性化を目指した。研修会参加後には、情報交換のためのメール交換や連絡などを行うことができるようになった。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

愛知県新城市立作手中学校との交流については少しずつ進めている。平成 28 年度末から、コラボノートというソフトを使いながら、生徒会を中心にそれぞれの学校や行事の紹介を行った。また、ユネスコスクール(ESD 活動)担当が作手中学校に出向き、学校の様子を視察した上で、「可能な交流活動」について協議を行ってきた。平成 30 年度には、まずは部活動での交流を行うことができればと考えている。ただし、予算等の問題もあり、なかなか難しい状況にある。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

中山間地に位置する小規模校（全校生徒17名）である本校の生徒は、たくましさに欠ける部分がある。しかし、ESD活動を通して、地域を活性化させる主役であることを強く自覚するだけでなく、外国人や社会福祉老人ホームとの異文化交流を経験したことで、ほとんどの生徒が、「取組に満足できる」と答えるなど、手応えを感じている様子が見られた。ESD活動実施後は、保護者からのリアクションが一番多く、大きいものであり、満足していただいている様子がわかる。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も、今年度並みの活動を継続していくことを基本と考えている。

①年間10回程度の太鼓演奏（地域の行事、養護老人ホーム、外国人観光客、保護者など）を実施する予定。

②玉川茶の生産活動を実施する。来年度は、より主体的な活動になるように、生徒会活動との連携を強くする。

③一人一テーマの個別探究学習を実施する。11月の発表会では多くの方に聞いていただけるよう、情宣活動の充実を図る。なお、テーマについても昨年度より深められるよう検討時間を十分に確保したい。

【新たな取り組み】

・SDGs実施へのアプローチの年としたい。開発目標の「17」は本校生徒数の「17」と一致するため、「一人一目標」と役割を与え、年度当初にSDGsについての調べ学習を実施する。

・他のユネスコスクールとの交流を模索したい。一昨年から愛知県新城市立作手中学校との交流を模索しているが、交通費のこともあり、なかなか思うように進んでいない。「やれるところから一歩ずつ」と考え、スカイプやコラボノートでの交流や、どちらの学校でも盛んな太鼓演奏などを披露し合うなど、進めていきたい。